

防災活動につながるSDGs



住み続けられるまちづくりを

台風への備え、できていますか？

台風が発生しやすい時期がやってきました。避難情報が出たとき、「避難所に行かなければ!」と思いがちですが、そうではありません。

避難とは「難」を「避」けることです。

家が倒壊したり浸水するなどのおそれがない場合は、

ウイルスの感染リスクや、ストレスの少ない「自宅避難」ができるよう、今のうちから備えておきましょう。



ご自宅周辺の浸水の危険性については、水害ハザードマップで確認を!

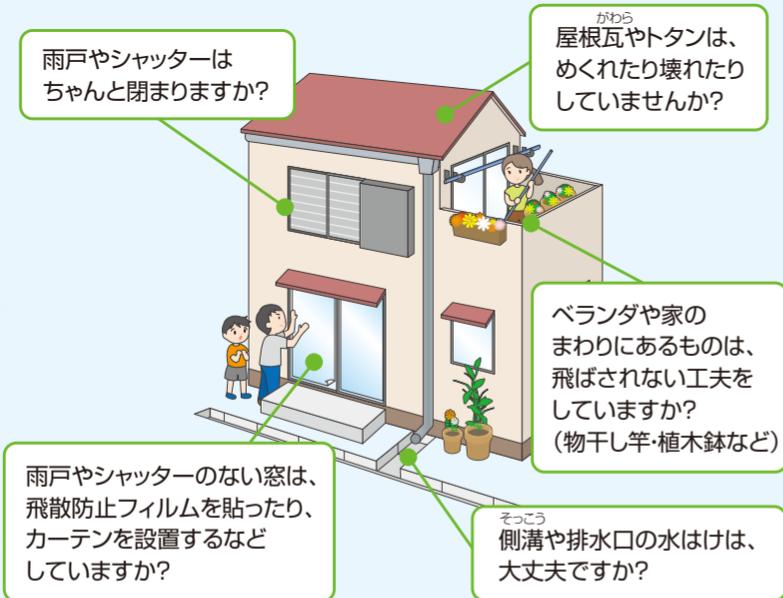


ホテルや、安全な場所にある親戚・知人宅など、自宅以外の避難場所についても、今のうちに考えておいてください。



今からできる備え

家の備え



例えば

非常用品の備え

- 懐中電灯 ●携帯用ラジオ(乾電池式) ●救急薬品 ●衣類
- 食べ物 ●水 ●カセットコンロ ●寝袋 ●雨具 ●軍手
- ナイフ ●缶切 ●鍋や水筒 ●乾電池 ●ロープ ●ライター
- 使い捨てカイロ ●簡易トイレ ●ティッシュ ●筆記用具
- ごみ袋 ●防災頭巾やヘルメット ●予備の眼鏡 ●地図
- ガスボンベ ●マスク ●貴重品 ●家族の連絡先を書いたメモ
- 携帯の充電器(乾電池式)

特に重要! 充電が切れたら情報がとれなくなってしまう!

ご自身に合った準備をしておいてください。



〈災害時、大阪市から避難情報を発信します〉
「警戒レベル4」で“全員避難”です!
覚えておいてください!

高齢や障がいのある方など避難に時間のかかる方やその支援者の方は「警戒レベル3」で、危険な場所から避難してください。急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方も、準備が整い次第、この段階で避難してください。また、それ以外の方も普段の行動を見合わせたり、いつでも避難できるように準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難をすることが大切です。近くの建物に避難する場合は、「強固な建物で、浸水するおそれのない階」に避難してください。

生野区の「防災・防犯」のページはこちら



警戒レベル	住民がとるべき行動	避難の情報	雨の情報	川の情報
5	命を守って!	緊急安全確保	大雨特別警報	氾濫発生情報
~〈レベル4までに必ず避難!〉~				
4	危険場所から避難して!	避難指示 全員避難!	—	氾濫危険情報
3	高齢者などは避難して!	高齢者等避難	大雨・洪水警報	氾濫警戒情報

※災害対策基本法が改正され、今年の5月20日から「避難勧告」と「避難指示」が一本化され、「避難指示」のみになりました。



区役所 教育関係 Twitter



区役所ブログ



区役所 やさしい日本語 Facebook



官民連携 まち情報サイト

